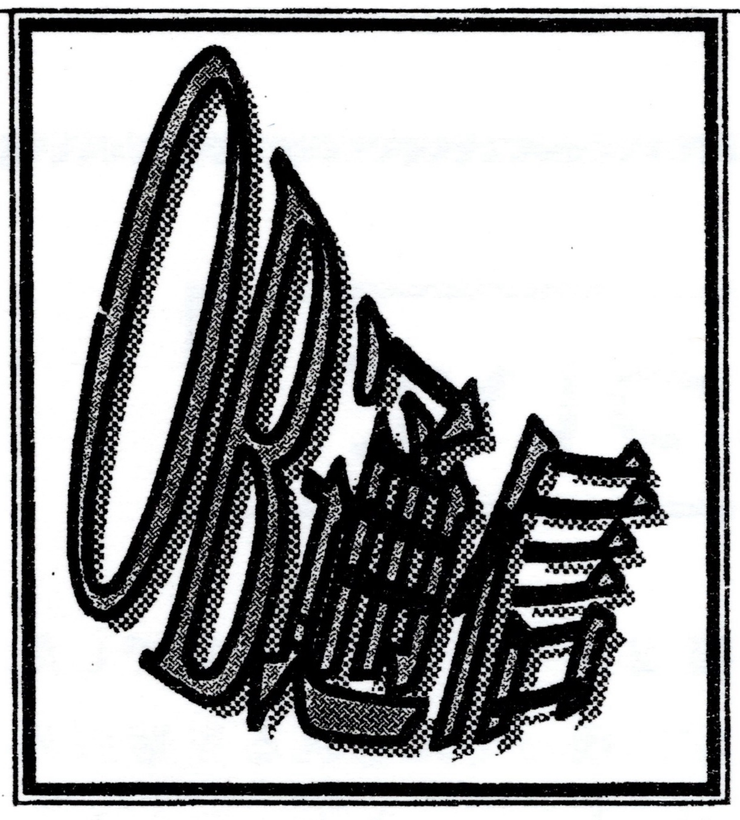


山口大学体育会ワンダーフォーゲル部
OB会

平成10年度7月 No.1

発行：〒753-0841
山口市吉田 1677-1
山口大学ワンダーフォーゲル部内
山口大学体育会ワンダーフォーゲル部
OB会事務局

◎はじめに

山口市では、今年も梅雨明けの季節となりました。ＯＢの方々、いかが御過ごしでしょうか。我々ワンゲル現役部員については、夏合宿に向けての準備に追われる毎日を過ごしています。今年は１年生も多く入り、七夕際も賑やかかなうちに終わりました。盆地山口の日中の蒸し暑さを吹き飛ばすかのように盛り上がり、一年生も沢山の売り上げにより、夏合宿後の『美ヶ原』での一年生合宿を楽しめることでしょう。

さて、今年度ＯＢ会事務局は昨年度主将でありました「國清順一」が勤めさせていただきます。
いろいろ行き渡らないことが多いとは思われますが、よろしくご指導いただきたいと思っております。なお、ＯＢ会について御質問、ご意見等ございましたら以下の方へご連絡頂けたらと思います。

〒753-0841
山口市大字吉田 2034 ハイツ浦山 A-21
國清順一（くにきよじゅんいち）
E-mail : b1124@ sty.sv.cc.yamaguchi-u.ac.jp
TEL：0839-24-1950 ext. 51
PHS : 060-301-2467

ＯＢ会の活動について

① OB 総会

平成 9 年度の OB 総会を平成 10 年度 2 月 1 日に行う予定でしたが、私の実家で用事が入り、また大学に残っておられる先輩以外に総会に出席されるというＯＢの方がいらっしゃらないこともあって、今年度の OB 総会は開催しませんでした。

なお、OB 総会の日程について、多くの方から正月付近にしてくれとの指摘がありました。次回以降の総会は正月付近にするよう、次ぎの事務局の担当者に伝えておきます。

最後になりましたが、去年 1 年間ＯＢ会事務局の仕事を勤めまして、いろいろと不手際もあったと思いますが、あたたかく見守ってくださり、そしてご協力いただいた諸先輩方に、大変感謝しております。ありがとうございました。

平成 9 年度 OB 会事務局　担当：中野 毅（36 期）

これより、今年度 OB 総会は正月近くに出来るよう検討してみます。なお、詳しい日程等については、次回の OB 通信にてお知らせいたします。

平成１０年度 OB 会事務局　　國清順一

② OB 会費

今年度の会費の納入をお願いいたします。なお、1 年分納入と、5 年分一括納入の 2 種類ありますので、どちらかでお支払いください。

1 年分会費……2,000 円

5 年分会費一括納入……10,000 円

また納入先については以下のようになっております。

郵便局：01530-016050
　　山口大学ワンダーフォーゲル部
銀行　：第一勧業銀行　山口支店普通 1482019
　　山口大学体育会ワンダーフォーゲル部

なお、郵便局の振込用紙を同封しましたのでご利用ください。
※振込用紙が同封されていない方は、5年間一括納入を致しますので、
今年度の会費納入の必要はありません。

③　平成9年度会計報告

〈収入〉

会費	150,000円
前年度繰越金	358,651円
その他（利息等）	9,954円
計	518,605円

〈支出〉

振替用紙口座番号記入代	300円
郵便代(郵送料、ハガキ)	80,650円
印刷代	2,330円
ＯＢ通信・ＯＢ名簿作成費（ホッチキスの針、のり、紙、ワープロリボン、封筒など）	14,275円
計	97,555円
◎差引残高	421,050円

平成１０年３月31日 中野 毅

会費納入が例年より伸びているようです。ＯＢの皆様に厚くお礼申し

上げます。なお、残金は次年度に繰り越すこととします。

以上を以って会計報告とさせて頂きます。

平成10年度3月31日 **中野 毅**

④ OB通信

次回のOB通信は、夏合宿の報告を中心に、12月頃発行したいと思います。

2. 新ＯＢ紹介

今年度、新たにＯＢとなられた方々を紹介いたします。

直原 俊介(山口市)　　**中野 毅(広島市)**

敬称略

以上、2名です。皆様のますますのご活躍をお祈りいたしております。

3. OB名簿

今年度のＯＢ名簿を作成しましたので同封いたします。付録として現役部員の名簿もつけましたのであわせてご利用ください。なお、記載に誤りなどがありましたら事務局までご連絡ください。

OB 名簿をご覧になって御分かりいただけると思われますが、OB 名簿には空欄が多く、これらの方々には OB 通信を送れない状況にあります。同期、また同地域の方でご存知の方がいらっしゃいましたら、御一報くださいますようお願いいたします。

なお、以下の方は前回の OB 通信発送時に転居先不明ということで返送されてきました。これらの方々の住所、電話番号などご存知の方がいらっしゃいましたら、合わせてお知らせいただきますようお願いいたします。

- **21期 三善 豊子**
- **23期 三角 敬治**
- **23期 桜井 睦子**
- **23期 木村 忠由**

- **23 期 小島 直樹**
- **30 期 山田 一成**

敬称略

4. 新執行部紹介

今年度の執行部員の役員、係を紹介します。

- **主将：福山 英生**
- **副将,エッセン：清水　慶明**
- **主務・渉外、トレーナー（メッチェン）：立石広美**
- **装備･山行技術：上田　治徳**
- **衛生、会計：緒方 秀次**
- **トレーナー（オッチェン）：吉村 友則**
- **記録図書,気象：藤井 良和**

敬称略

5. 現役部員活動報告

県内合同ワンデリング

5 月 2、3、4 日に華山にて県合は行われました。2 日は激しい雨にみまわれテントが侵水した中でエッセンを食べ、酒を飲みました。3 日は雨はあがってくもり空の中涼しい山行となりました。しかし足場が悪く天気もくもっていたせいか、みんなの気持ちはしずんでいたように思えます。その世のファイヤーストームでは盛り上がっていましたが、一緒に盛り上がりきれない新入生もいたので来年の県合ではその点に注意を払わなければならないと感じ、飲みすぎに注意と言った感じであります。

吉村友則

'97春合宿報告

内田 Party

山 Party は、開聞岳と霧島連峰に行ってきた。予定では、まず開聞岳に登り、えびの高原へ移動して霧島連峰の池めぐりコースを歩いたり、韓国岳から高千穂連峰まで縦走したりする５泊６日というものだった。しかし、実際は、雨のために沈をして７泊８日の合宿となった。

開聞岳は、薩摩富士といわれているだけあって、その姿の美しさには感動させられた。頂上からも池田湖や頴娃海岸などを見下ろすことができ、とても素晴らしかった。

えびの高原に移動してからは、天候に悩まされた。高千穂河原への縦走の日でさえ、最初のうちは、ガスがかかっていて、展望を楽しむことはできなかった。しかし、韓国岳を下るときに、ガスが晴れてきて、獅子戸岳、新燃岳とこれから縦走していく山々を見渡すことができた。そのときは、「これこそ、霧島、これこそ合宿。」という気持ちになってとてもうれしかった。

最終日は、朝から晴天に恵まれた。高千穂の峰の御鉢では、鹿が斜面を走っている姿を見ることができた。また、頂上からは、縦走してきた山々を眺めることができた。御池までの下りは、合宿のことをふり返りながらかみしめながら歩いた。そして、みな無事に下山することができた。

この合宿は、初のＰＬとしての合宿であり三年間のワンゲルの活動の締めくくりの活動でもあった。天候に悩まされたり、沈が多かったために精神的に苦しいこともあったが、全コースをこなし、合宿を無事、終えることができた今は、とても満足している。また、この開聞岳と霧島連峰は、私にとって特別の山域となっている。また、数年経ってから行ってみたいと思う。

ＰＬ：内田幸子

高石 party

去る三月二十二日から三月二十九日まで鹿児島県の屋久島の西に浮かぶ口永良部島とゆう人口約１７０人の小さな島においてサバイバルの春合宿を五泊六日で行いました。二十二日の夜八時に湯田温泉駅を出発して博多から夜行列車で鹿児島へ、そこから屋久島へフェリーで渡り、さらにフェリーを乗り継いで二十三日の三時にやっと口永良部島につきました。夜行列車の疲れとフェリーの船ゆれで結構疲れてしまいました。テン場にいってみると海岸のすぐ近くのほんとに狭い空き地でがっかりしました。さて合宿中の天候はというと毎日の様に雨が降り、ほとんど何もできずテントの中で一日中過ごした日もありました。サバイバルで雨にたたれると、こんなにもきついものかと実感しました。サバイバルの合宿をするときは天気のいい時期にいくべきだと思います。この時期は天気がよくないと知っていたのですが諸事情でこの時期にいくことになってしまいました。しかし一日中くもりでまともに活動できた日は４０センチくらいの魚が二匹釣れました。もし天候がよければたくさん釣れて充実したエッセンになっていたのではないでしょうか。天気が悪かったのが残念です。合宿終了後に天気がよくなり真っ青な空をみて、どんなに腹立たしかったか…。御察しください。

PL:高石豊寿

渡部 PARTY

１９９７年の３月２１日から同３０日まで、我々（山口大学体育会ワンダーフォーゲル部・１９９８年度春合宿サイクリング Party）は南九州を自転車で走るという形態の春合宿を行った。以下に、この合宿を終えてのＰＬ

としての反省点や感想について、いくつか述べる。反省すべき点はいろいろあるが、大きく２つに分けられる。一つは合宿の準備段階に関する事で、もう一つは合宿中の行動に関する事であるが、このうち前者に大きなウェイトがあるように思われる。

先ず準備段階についてであるが、どこに問題点があるかを考える前に、実際に合宿で起こったことを簡単に書いておく。発生したトラブルのうち主なものは自転車に関するもので、その中の一つにチェーンの切断があった。切断は２度にわたって起き、そのうち一回はチェーンが切れた場所から比較的近くに自転車店があり、直ちに修理することができた。しかし、２度目の切断が起きたのは、修理のできる最も近い場所からでも２０km 近く離れた所であり、そこまでの間はペダルを漕ぐことなしに進むことを余儀なくされた。２０km の道のりのうち大半が下りで、しかもそれ以外のところでは上りが多かったので、その日のコースタイムとしてはあまり大きな影響がでなかった（予定の 1.1 倍以下）が、修理そのものや修理場所を探すのに時間をとられ、その日のテン場到着時刻は最も遅い場合として考えていたものに等しい 15 時 30 分となってしまった。

このような事態はまったくの予想外のことであった。事前の P-mee でも、チェーンについてはほとんど触れられず、チェーンについての知識はゼロに等しかった。起きてしまったことは仕方ないが、それが起きることを事前に予測し、またそれを未然に防ぐことはできなかったのだろうか。調べてみると、チェーンの寿命というのは意外に短く、チェーンが伸びてくると、今回のように切れるというケースも珍しくないらしい。そこで、ある程度チェーンが伸びたら長さの調節が必要になってくる。今回の合宿でも、出発の時点までに自転車のレンタル先に相談し、そのような必要がないか、またチェーンに寿命がきているということがないかをチェックするということができたはずである。

チェーンの他にもトラブルは起きた。それは、キャリアバッグ（前後とも）が車輪に接触してしまうというもので、特に後輪の場合はそれによってホイールの回転が妨げられ兼ねない危険なものである。キャリアバッグを携帯するときはキャリアを取り付けることが必要だが、

今回はサイクリング部が使っているようなしっかりとしたキャリアを付けなかったことが、トラブルの原因である。この場合はバッグを取り付ける度に、車輪と接触することがないかどうかを確認する必要がある。今回はたまたま以上のようなことが起きたが、自転車には他にもさまざまなトラブルが発生する可能性がある。要は、それらについてしっかりとした検討、準備をした上で合宿に臨んでもらいたいということである。

PL: 渡部　玄

第37期執行部を終えて

今年3月を持ちまして、第37期執行部は、何とか終了するに至りました。昨年一年間諸先輩方には、心配、ご迷惑をおかけしましたことを深く反省いたします。と同時に、あたたかい励ましとアドバイスを頂き、只々感謝するだけです。昨年度は、夏合宿は前回のOB通信で報告したように、無事北アルプス 2party、飯豊連峰1party 終了するに至りました。しかしながら、アフターは、あいにくの雨の為、殆ど行くことが出来ず、1年生の尾瀬での一年生合宿しか行うことが出来ませんでした。天候と言うものは、どうしようもないものです。その天候は、春合宿についても、影響しました。詳細につきましては、前述の‘97春合宿報告をご覧ください。

今年度執行部は、執行部内での不仲、また人任せであったためなかなか行事を進めることが出来ず、苦労しました。執行部員全員が目的意識を持ってワンゲルの活動へ執行部を持つ前の2年生のうちに身につけておくことが必要であったと、痛感いたしました。と同時に、学校が忙しくなりまた、学年内、いや先輩として振る舞うことが少ないことにより、部の様子が分からず思っていることが話し合いに出てこなかったことも一因でした。ワンゲルの飲みと言うものは、やはり飲み潰れると言うよりも、友人、上下の関係をしっかりとするためにも必要であり、参加するべきものであると感じました。普段話せないこ

と、話題に出ないことなど積極的に言える場がワンゲルの飲みの場であると思います。今年度執行部員に至っては、私が心配になるほど毎週、いえ毎日飲み会をしていた後輩たちですので、その点は安心できます。しかしながら、後輩があまり乗気ではないことに戸惑っているようです。是非、我々の第が失敗したことを乗り切って欲しいと思います。

さて、理由あって急遽私は今年度宇部主催で行われた県内合同ワンデリングの本部をすることになりました。1 人の新入部員が、大騒ぎしながら酒を飲み楽しんでいるのは自分に合わない、と言い私に泣きついてきました。県合を盛り上げようと大騒ぎしていた山大の 3 年生（執行部員）がそれを聞き、飲むのを止めてその一年生と語ってました。多数を占める山大本部が静かになったので県合の盛り上がりは、その時点で無くなりはしましたが、昨年現在の執行部員にいろいろとアドバイスしたことが芽生え始めているようで、少しうれしく感じました。追伸ながら、その 1 年生はワンゲル活動を楽しんでいるようです。

無理なこと、いやなことはしない、自分の好きなことをする、そんな時代？ではありますが、大好きなワンゲル活動を通して執行部を中心に頭をひねりながら話合、作業、行事などこれまで主体的には決してやって来なかったであろう活動を全員でやっていって欲しい、昨年度あまり良い成果が出せたとは言えない執行部を代表してこの場をお借りして、言わせて頂きました。

また、現役とＯＢの方々がますます、山、海、空などありとあらゆる活動フィールドで自然とふれあい、人とふれあって、切磋琢磨していくことを願って少しながら、話がそれたような気がしますが、執行部の反省として返させて頂きたいと思います。

元 第 37 期主将：國清順一

第 38 期執行部近況報告

今回のＯＢ通信におきまして、第 38 期執行部近況報告を執行部を代表して、第 38 期主将の福山がさせていただきます。

第 38 期執行部は、3 年生 7 名（男 6 名、女 1 名）で構成されています。我々、第 38 期執行部は、「明るく、楽しく」という、部活動をしていく上で見失いやすいものを目標に置き部の運営にあたっています。幸い、我々 3 年生は、何事にも明るく、そして何よりも楽しむと言うことに掛けては、他のどの学年にも負けることはないと思っています。そして、我々 3 年生は、「酒」をこよなく愛する唯一の学年であります。1 年のころから頻繁に飲み会を催し、いつの間にかみんな潰れているということも珍しくありませんでした。しかし、最近では、酒を飲むのが好きではない人間が増え、ワンゲルの飲みも変わりつつあります。我々 3 年生としては、、少し淋しい気もしますが、これも時代の流れかなと思っています。

3 年生の紹介はこのへんにして、本題に入ろうと思います。約 3 カ月前、平成 10 年 4 月 1 日を以って、第 38 期執行部は発足したわけですが、執行部としてまず取り組まなければならなかったのが、新入部員の勧誘でした。現在、3 年生は 7 名いますが、2 年生においては 4 名（男 2 名、女 2 名）しかおらず、新入部員をある程度獲得しなければ、活動内容のレベルアップどころか現状維持も難しくなると思ったからです。そのため、今年の勧誘活動では、昨年の反省をしたうえで改善すべきところは改善して臨みました。具体的な改善点としては、昨年は主に BOX において行っていた茶話会を、今年は教養や教育学部の教室で行い、1 年生が茶話会に来やすい環境を整えようとしました。また、茶話会用のパンフレットは作っているのですが、内容が 1 年生

にとって分かりづらく、配布しないためにあまり役に立っていないのではないかと思い、今年のパンフレットでは、例えば茶話会に来た 1 年生全員に配り、そして少しでも興味を持ってもらおうと 2 ・ 3 年生の紹介文をおもしろおかしくのせてみました。このように、様々な試みをしたせいもあってか 1 年生が 10 名（男 6 名、女 4 名）入部しました。執行部としての目標数を確保できほっとしています。ただ、問題も出てきました。今年の夏合宿では昨年よりも多少強度を上げようと思っていたのですが、予想以上に女の子が入部し、また全体的に 1 年生の体力がなかったために執行部が考えていたものよりも合宿の強度は下げざるをおえませんでした。執行部を率いる主将としては、少し残念な結果となってしまいましたが、気持ちを切り換えて、夏合宿に取り組んでいこうと思っています。

さて、ここからは先程から話題に上がっている夏合宿についてご報告したいと思います。今年の夏合宿では、全 3 パーティー（北アルプス 2、南アルプス 1）で行う予定です。詳しいコース詳細などは、各ＰＬが他のページで述べていますのでそちらを参照してください。執行部では、先日夏合宿に向けて一次錬成を水平道コースと防火帯コースで行いました。雨が降ったり止んだりといった天候の中、何とか全員やりとげることができました。しかし、悪天候のせいもあったと思いますが、コースタイムが例年よりかかり、全体の体力不足がはっきりと現れた錬成だったと思います。これから夏合宿まで残された時間は短いですが、トレーニングを中心にもう少しがんばらないといけないのではないかと思います。

以上、なんだか訳の分からない文章となってしまいましたが、第 38 期執行部近況報告を終わらせていただきたいと思います。まだまだ力不足な面が多い執行部ですが、ＯＢの皆様が築いてこられた伝統だけは守っていこうと思っています。また、山口にお越しの際にはお気軽に BOX にお立ち寄りください。部員一同、皆様に御会いできるのを心より楽しみにしています。

第 38 期主将：福山 英生

'９８年度夏合宿コース詳細

● 上田パーティーより

中房温泉 ―▶燕岳 ―▶大天井岳 ―▶常念岳 ―▶蝶ガ岳 ―▶ (涸沢
◀―▶奥穂高岳・涸沢岳、北穂高岳)

6泊7日、6人パーティーで上記コースの合宿を行います。PLは上田治徳(教Ⅲ)です。ご覧の通り、今年は穂高へ行きます。穂高には多くの鎖場、ハシゴ場があり、それなりの危険が伴います。山の経験の少ない1年生をつれてゆくには少なからずの不安が残るものです。そこでその対策として合宿前に以下のことを予定しています。

① BOX横にて3mぐらいのハシゴでハシゴ場の練習
② 二次錬成にて、21世紀の森の岩場へ行き、鎖、三点支持の練習
③ P-ワンで火の山・陶ガ岳へ行き、三点支持を行う＋右田ヶ岳P-ワン

これらの対策が必ずや1年生や、また上級生の技術の向上につながり、また個々の自信、意識の向上、Partyの団結の手助けとなるものと信じています。

PL：上田治徳

● 清水パーティーより

今回の夏合宿で私たちが行く山域は北アルプスです。新穂高温泉より双六岳、黒部五郎岳、薬師岳、五色ガ原、そして立山と6泊7日の計画で予備は3日です。今年は例年より大変雪が少なく平年より1～2月早く雪が溶けているそうです。楽しい雪渓歩きは望めそうにもありませんが、充実した夏合宿になるようがんばりたいと思います。

PL：清水　慶明

● 藤井パーティーより

◎コース

三伏峠を通って塩見岳にまず登り北上し、白峰三山を登るという盛りだくさんのコースです。

三伏岳 → 塩見岳 → 三峰岳 → 間ノ岳 → 農鳥岳・西農鳥岳・広河内岳 → 間ノ岳 → 北岳 → 広河原

◎見所

南アルプスということで何と言ってもやはり標高が高いと言うことです。標高が日本第2位の北岳、第4位の間ノ岳を始め3,000mを越える山々が5座有り、頭だけが3,000mを越える2,999mの三伏岳(みぶだけ)も楽しみです。P-menも8人でそのうち1年生が4人ということで活気あふれるPartyになりそうです。今年の夏は空の中を闊歩してこようと思います。

ＰＬ：藤井良和

6. 編集後記

大学にもパソコンが入り、講義でパソコンの操作仕方などを簡単に習うようになりました。しかしながら、個人が必要に迫られてパソコンを使おうとすることは、どうやらまだまだのようです。このＯＢ通信も当初全員がワープロ作ったファイルをフロッピーに入れてくれば後は編集するだけかと思っていましたが、結局、フロッピーを持ってきたのは数人で、代筆？ことになりました。OB通信の原稿を全員がファイルとして送ってくるのは後何年後でしょうか。また、OB通信の表紙、体裁などがそれほどハッキリとしたものがないため、私自身少し苦労しました。読みにくい箇所等ありましたら、教えて頂けたら幸いです。閑話休題、9月までの間、顧問の佐々木 衛教授が出張の為、田中誠二教授に顧問が変わっています。この間、短いためワンゲルの口座の名義をそのまま変更しておいたのですが、郵便局の払込取扱票に口座番号、加入者名（山口大学ワンダーフォーゲル部）と印刷してもらえませんでした。名義変更しておくべきであったと深く反省しております。お手数ですが、振り込みの際には添付しました郵便振替払込用紙にご記入くださいますようお願いいたします。

山口大学体育会ワンダーフォーゲル部ＯＢ会事務局:國清順一